

CP-6-Ⅲ-21	<b>消化器・代謝系疾患集中講義</b>	第6学年	前期 選択	0.5単位
<b>担当者</b>	小林 恒雄			
<b>一般目標 (GIO)</b>	消化器・代謝系疾患時に関与する各臓器の機能形態、病態生理、薬物治療、薬理について、総合的知識を修得する。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器・代謝系臓器の機能形態、代表的な疾患、病態生理、適切な治療薬を挙げることができる。</li> <li>2. 腸炎、過敏性腸症候群の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>3. 胃、十二指腸潰瘍の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>4. 肝炎、膵炎の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>5. 糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>6. 脂質異常症の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>7. 高尿酸血症、痛風の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>8. 血液、造血器における代表的な疾患、病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用について説明できる。</li> </ol>			
<b>受講心得・準備学習等</b>	消化器、代謝系疾患に関わる臓器の基礎的生理機能を理解しながら、各疾患における病態生理から薬物治療、薬理作用機序までを総合的に理解する。教科書の問題は、必ず解いておくこと。			
<b>事後学習・復習等</b>	教科書の解説、教科書の問題、配布するプリントは、復習を行い、知識の理解、定着を図る。			
<b>オフィスアワー</b>	原則講義のある日の16時から18時			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う
回	項目	内容
1	消化器系疾患と薬物治療	消化器・代謝系臓器の機能形態、代表的な疾患、腸炎、過敏性腸症候群の病態生理、適切な治療薬
2	消化器系疾患と薬物治療	胃、十二指腸潰瘍の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序と主な副作用
3	消化器系疾患と薬物治療	肝炎、膵炎の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序と主な副作用
4	代謝系疾患と薬物治療	糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序と主な副作用
5	代謝系疾患と薬物治療	脂質異常症、高尿酸血症、痛風の病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序と主な副作用
6	血液系疾患と薬物治療	血液、造血器における代表的な疾患、病態生理、適切な治療薬、薬理作用機序、主な副作用
7		確認試験

<b>成績評価の方法</b>	講義中に行う小テスト、確認試験により評価する。
<b>成績評価の基準</b>	確認試験、小テストの合計点が60パーセント以上を合格点とする。
<b>教科書</b>	プリントを使用する。
<b>参考書など</b>	講義中に適宜提示する。